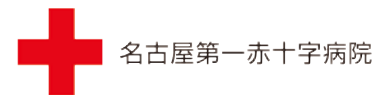


日赤なごや



日本赤十字社
JAPANESE RED CROSS SOCIETY

地域医療支援病院・地域がん診療連携拠点病院
救命救急センター・総合周産期母子医療センター
地域中核災害医療センター
造血幹細胞移植推進拠点病院



Vol.49
2015.Summer



Professional Style

平田 文恵さん

Medical Frontier

化学療法内科部長 中野 祐往医師

ふれあい通信

- 名古屋第一赤十字病院奉仕団 団員募集!
- 「しあわせ」を、ありがとう。
ANAグループ すずらん贈呈

おクスリ豆知識

処方されたくすりの残薬についての話

Professional Style

Vol.49

プロフェッショナル
スタイル

表紙のひと

小児科 医員

ひらた ふみえ

平田 文恵さん



子どもたちの成長を一緒に見守り、 支える小児科医をめざします。

小児科医として懸命に働く父を見て、 一生の仕事と決めました。

2年間の初期臨床研修※1を終え、後期臨床研修※2も引き続き、当院で小児科医として働いています。

「小児科」は、一般的には、新生児から15歳ぐらいまでを診察の対象としています。成長期にある子どもたちの心と体は日々変わっていきまふし、病気の症状もまた成長に伴い変化します。小児科医は、子どもたちの生活や人生に寄り添いながら、あらゆる疾患と向き合う仕事だと思ひます。

入院患者さんが元気になって退院される時は、やはり感慨深いものがあります。そして、退院された患者さんが、風邪などで再び来院された時、私の顔を見た瞬間にパッと顔が明るくなり、「先生!」と手を振ってくれたりすると、医師

として少しはお役にたてたのかな、とうれしくなります。

患者さんひとりひとりが かけがえのない存在です。

幼い患者さんの場合、どこがどのように痛むのか、具体的な症状を本人から聞き出すのは難しいため、ご家族にも詳しくお聞きして、総合的に判断することになります。

一見、ただの腹痛と思われる症状の中に、別の病気が潜んでいることもあるため、わずかな違いを見逃さないことが大切。その見極めこそ、小児科医に必要な経験値だと思ひます。

私の尊敬する先生は、幼い入院患者さんの診察にあたり、付添のご両親はもちろん、一人で過ごしがちな患者さんの兄弟にまで気を配り、細やかな対

応をされていました。

また、別の先生は、あるご高齢の患者さんの診察の折、好きな食べ物や趣味、仕事、ご家族についてもさり気なくお話をされ、その中から問題点を見出し、対処をされていました。そして、健康を気遣いながらも、患者さんが「いかに心豊かに人生を過ごすか」を第一に考えておられました。

私は、患者さんには幸せになっていただきたいと思ひています。そのためには、患者さんひとりひとりに合った治療法を提案できるよう、じっくり信頼関係を築くとともに、患者さんにとって身近な存在になれるよう心を配り、日々研鑽していきたくと思ひています。

※1 医師国家試験に合格後、法に基づき行われる臨床研修。内科や救急など、様々な科で研修し、医師としての経験を積む。

※2 希望する専門領域にて経験を積む。

おクスリ 豆知識

処方されたくすりの残薬についての話

第36回

ある新聞記事にこんなことが書かれていました。“飲めずに「残薬」、山積み 高齢者宅、年475億円分が”…いったいどういうことでしょうか?

記事には、“高齢者宅から薬が大量に見つかる事例が目立っている。「残薬」と呼ばれ、多種類を処方された場合など適切に服用できず、症状の悪化でさらに薬が増える悪循環もある。”と書かれています。高齢に

なればなるほど病気の数が増え、それに伴い治療薬の種類も増える傾向にあります。患者さんの治療法や治療薬に対する理解が不十分なために「飲み残し」「飲み忘れ」などが増加するとも言われています。

日本薬剤師会が以前行った調査では、在宅患者の4割超に「飲み残し」「飲み忘れ」があり、1人あたり1カ月で3,220円分が服用されていないという結果がありました。こ

れは、金額ベースでは処方された薬全体の24%にあたり、75歳以上の患者の薬剤費から推計すると、残薬の年総額は475億円になるということでした。高齢社会になり、個人が受診する医療機関も増え、薬の種類も増加するのはやむを得ないことかもしれません。診察の際には飲んでいるお薬の状況を医師や薬剤師に話しましょう。そして無駄なお薬を減らすように心掛けてください。

Medical Frontier

メディカル フロンティア

最前線医療レポート vol.49

化学療法は日進月歩。
患者さんに負担の少ない治療薬も、
次々開発されています。



化学療法内科部長
なかの やすゆき
中野 祐住 医師

通院で、がん治療ができる時代です。

がんというと、真っ先に「手術(外科療法)」を思い浮かべる方が多いかもしれませんが、近年は治療法も多岐にわたり、薬(抗がん剤)を用いる「化学療法」や、放射線を患部に当てる「放射線療法」等、いくつかを効果的に組み合わせ、患者さんのニーズにあわせた治療が行われています。

特に、化学療法の分野は進化がめざましく、がんの発生場所や種類にそった新薬も続々と開発されています。

抗がん剤と聞くと、ひと昔前のドラマの影響でしょうか、吐き気や脱毛等の副作用に苦しむ姿を連想しがちですが、最近では「分子標的治療」といって、がんの原因となる分子だけを狙って投薬する治療法もあるため、患者さんの負担は少なくなっています。

「分子標的薬」は、従来の抗がん剤に比べて内服薬も多いため、手軽に投与できるケースが増え、経過によっては外来治療も可能となります。

これまでは、長時間の点滴が必要であったり、あるいは副作用が出るため入院せざるをえない場合も多くありました。しかし、このような患者さんに新薬を用いたところ、通院しながら自宅療養ができるようになり、ご家族と暮らして明るくなった…、そんな事例が増えています。

がんの治療には、公的保険が適用されます。

がん治療において、悩ましいのが医療費です。特に、開発費のかかる新薬は高額となるため、患者さんへの負担は大きくなります。

たとえ新薬が保険適用であっても費用はかかり、また、長期にわたる治療の結果、高額となる場合も多いため、どの薬をどのように使用するかがポイントとなります。私たちは、患者さんのがん種にあった治療法を見出すだけでなく、薬の費用対効果や保険適用の有無なども踏まえ、おひとりひとりに最適な治療法をご提案しています。

患者さんによっては、化学療法をおすすめした時点で、「もう治らないのですか」と不安を感じる方もおられます。どうやら、手術でがんを取り切れない場合に抗がん剤を使う…という昔のイメージがあるようです。しかし、最近では、手術の前に抗がん剤を用いたり、手術と併用する事例も多くあります。患者さんに少しでも早く効果的な治療ができるよう、私たちは各科の専門家と連携し、常に最善の治療をめざしています。

外来化学療法センターが、通院治療の患者さんを支えます。

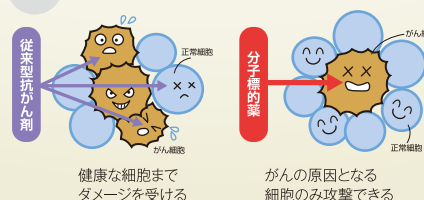
化学療法には、内服、点滴、注射などの方法があり、治療時間も1時間以内のものから、6時間以上要するものまで様々です。

かつての治療室は、点滴につながれた患者さんがベッドに寝ているだけの殺風景な空間でした。しかし、現在の外来化学療法センターは、プライバシーが保てる程よい距離にリクライニングベッドが置かれ、治療中も音楽を聞いたり、テレビを見たりしてリラックスできる、心地よい環境となっています。

私たちがめざすのは、病気を治すことだけでなく、患者さんの生活の質(QOL)を高め、治療を通して患者さんの人生を支えていくことです。

がんと闘う患者さんに、最良の治療と快適な環境をお届けできるよう、私たちは全院体制で取り組んでいます。

イメージ 抗がん剤と分子標的薬の違い



名古屋第一赤十字病院奉仕団 団員募集!

当院の運営は、職員だけでなく多くの方々に支えられ成り立っています。

名古屋第一赤十字病院奉仕団もその一つです。

同奉仕団は、当院において総合受付や入院受付での案内、自動精算機や再来受付機での案内、超音波室でのおしぼりの整頓作業、車いすのメンテナンス作業などを担当していただいています。

また、昨年結成40周年を迎え、決意も新たに意欲的に活動していただいています。その後継者の育成にも力を入れているところです。

同奉仕団では、新しい団員を募集しています。奉仕活動に興味のある方は医療社会事業部社会課までご連絡ください。

詳細はこちらをご覧ください。 <http://www.nagoya-1st.jrc.or.jp/3/report/boranthia/bosyuu.html>



「しあわせ」を、ありがとう。 ANAグループ すずらん贈呈

今年で60回目を迎えたANA(全日空)グループによる「すずらん贈呈」のため、去る6月3日、客室乗務員と旅客担当の皆さんが来院されました。

この日届けてくださったのは、北海道千歳市近郊で咲いた「すずらんの鉢植え」と、ANA所属のフィギュアスケーター 羽生結弦選手のメッセージ入り「しおり」400枚。また、今年は特別に、すずらんの「切り花」も用意してくださいました。

客室乗務員、旅客担当の皆さんは、頭・頸部・泌尿器センターの病室を笑顔で訪ね、患者さんひとりひとりに励ましの言葉と、すずらんの「しおり」、「切り花」を手渡されました。

ANAスタッフの方から、すずらんの花言葉が「しあわせ」であることを聞いた患者さんは、「絶対に幸せにならないといけない。まずは病気を治さない。」と笑顔でしおりを受け取られていました。

いただいた鉢植えは、院内に植え替え、来年また美しい花を見られるよう大切に育てていきます。



Information

お知らせ

痛みの教室、9月に開催!

当院では、3ヵ月ごとに「整形外科痛みの教室」を開催しています。
 これは、日常良く見られる整形外科疾患の解説と痛みの対処法を紹介するもので、
 患者さんから「非常に分かり易い」という声をいただいています。
 次回は、下記のとおり開催を予定しています。お気軽にご参加ください。



開催日 平成27年9月5日(土)

時間 午後2時より

場所 東棟2階 内ヶ島講堂

1)「首の痛みの病態」

脊椎脊髄外科 部長 井上英則

2)「頸部痛に対する薬物療法」

金城学院大学薬学部 准教授 池田義明 先生

3)「首の痛みに対するリハビリテーション」

リハビリテーション科 理学療法士 松原修



イベント 掲示板

なごやかコンサート

名古屋を中心に活躍されているフルート・オカリナ奏者加藤さんとジャズピアニスト瀧川さんをお迎えし、今年も「なごやかコンサート」を開催いたします。ぜひ会場に足をお運びください。

開催日 平成27年8月中旬予定

場所 西棟1階 ホスピタルモール



がんサロン「コスモス」でおしゃべりしませんか

がんによる悩みや不安を自由に語り合う場、がんサロン「コスモス」を開催いたします。予定は次のとおりです。ぜひご参加ください。

開催日 平成27年

7月28日(火)・8月25日(火)・9月29日(火)

時間 15:00~16:30

会場 東棟2階 会議室1

第6回 中村日赤ふれ愛まつりを開催します。

地域の皆さまとの交流の場を設けるために平成22年に始まったイベントが、早くも6回目を迎えます。身長・体重・体内脂肪、血糖値、血管年齢などの各種「測定」コーナーをはじめ、毎年お子様から人気を博しております「薬の調剤体験」や「内視鏡体験」コーナー、ゲームコーナーなどを予定しています。また、ホスピタル・クラウンショーやコンサートも予定しています。皆さまに心からお楽しみいただき、病院を身近に感じていただけるようなイベントを、盛りだくさんご用意しております。ぜひ、お越しください。

開催日 平成27年8月1日(土)

時間 10:00~15:00

会場 西棟1階ホスピタルモールほか



健康教室、開講です!

参加
無料

テーマ 「救急医療について」

講師 新城市民病院 榎葉 誠 先生ほか

開催日 平成27年9月10日(木)

場所 東棟2階 内ヶ島講堂

外来診療担当医表

※担当医は都合により変更になる事がございますのでご了承ください。 2015年7月1日現在


診療科目	月	火	水	木	金		
内科	血液	小澤	福島	宮村	小澤	福島	
		瀬戸	佐藤	川島	中島	瀬戸	
		—	PM 宮村	加賀谷	PM 池野	PM 宮村	
		PM 川島	PM 中島	PM 瀬戸	—	PM 加賀谷	
	内分泌	清田	佐藤	尾崎	尾崎	清田	
		柳沼	安田	—	渡邊	佐藤	
	腎臓	遠藤	市田	北井	今井	市田	
	神経	真野/PM村尾	満間	後藤	真野	後藤	
		満間	蛭薙	馬淵	渡邊	蛭薙	
		馬淵	田中	渡邊	村尾	田中	
	循環器	神谷	交代/(花木)	神谷	柴田	柴田	
		丹羽	嶋野	清水	大野	森下/(交代)	
尾崎		安田	河西	寺嶋	片桐		
呼吸器	新患	青山	横山	山田/篠塚	野村	高納	
	再診	野村	篠塚/PM西山	青山	横山	野村	
消化器	—	山田/PM高納	PM 田宮	高納	横山/PM山田		
	土居崎	春田	鷺見	山口	春田		
	植田	山口	村手	西尾	土居崎		
総合診療	鷺見/PM高野	西尾/PM青井	長谷川	村手/PM河村	早川		
	河村/PM早川	PM 八鹿	八鹿/PM八田	PM 長谷川	PM 植田/青井		
	大庭	PM 柳沼	隔週第1-3-5 PM 大庭	PM 樺葉	—		
小児科	午前	羽田野	加藤(明)	安田	羽田野	生駒	
		中山	大城	八田	鬼頭	中田(智)	
		若松	大萱	坂口	加藤(俊)	(交代)	
		山森	神澤	濱口	(交代)	成田	
	午後(専門外来)	循環器	羽田野	—	—	—	—
		血液	—	加藤(明)	—	吉田	加藤(明)
		神経	—	—	中田(智)	大萱	夏目
		腎臓	—	月舘	—	—	—
		新生児発達	鬼頭	中山	立花	安田	大城
		神澤	田中	—	—	—	
		フォローアップ	—	山森	濱口	若松	横塚/加藤(俊)
		予防接種	(交代)	(交代)	—	—	—
乳児健診	—	—	(交代)	—	—		
小児内分泌	—	—	—	隔週第2-4 八田	—		
アレルギー	—	—	—	中田(知)	—		
●予防接種・乳児健診は10日前までにご予約ください。詳しくは受付にお問い合わせください。							
外科	一般消化器外科	宮田	竹内	湯浅	永井	宮田/永井	
		三宅	吉岡	南	毛利	三宅	
		清水	加藤(明)	奥野	PM 竹内	細井	
		—	—	PM 加藤(明)	—	PM 前田	
	乳腺内分泌外科	—	山崎/PM 後藤	後藤	後藤/河合	PM (交代)	
	心臓外科	澤木	伊藤	前川	柳澤	林	
	血管外科	—	山本	—	上遠野	—	
	呼吸器外科	森/岡阪	森/PM 森	—	—	森	
小児外科	金子	金子	—	金子	PM 金子		
禁煙外来	毎週火曜日(13時~15時)門松						
形成外科	林/滝川	—	林	—	滝川		
整形外科	新患	伊東	山賀	大島	(交代)	杉浦	
	再診	大澤	堀井	井上	堀井	大澤	
		井上	山本	八木	洪	石川	
		洪	石川	伊東	山本	八木	
		—	小野田・大島	山賀	杉浦	小野田	

診療科目	月	火	水	木	金	
脳神経外科	稲尾	(交代)	稲尾	(交代)	岡本	
	服部	(交代)	—	(交代)	—	
	赤堀	(交代)	波多野	(交代)	藤谷	
皮膚科	新患	澤田	西田	南部	西田	南部
	再診	西田	澤田	澤田	澤田	澤田
泌尿器科	服部	山本	鈴木(弘)	鈴木(弘)	服部	
	鈴木(省)	—	山本	佐野	山本	
	加藤	加藤	鈴木(省)	加藤(新患)	—	
女性泌尿器外来	加藤	鈴木(省)	PM 加藤	—	—	
●新患は(木)にご来院ください。						
産婦人科	新患(産・婦)	岡崎・安藤	紀平・一	古橋・水野	宮崎・一	栗林・廣村
	再診	猪飼/PM 夫馬	水野/PM 齊藤	新保	廣村	三宅
	生殖内分泌・内視鏡	齊藤	安藤	—	安藤	安藤
	化療外来	—	(交代)	(交代)	(交代)	—
	妊婦診	古橋	鈴木	長尾	栗林	紀平
	PM 三澤	PM 岡崎	—	PM 柵木	PM 伊藤	
バースセンター	—	岡崎	—	柵木	—	
	助産師	助産師	助産師	助産師	助産師	
眼科	佐藤	(交代)	佐藤	(交代)	伊島	
	(交代)	(交代)	(交代)	(交代)	(交代)	
耳鼻咽喉科	新患	寺田	鈴木(淳)	柵植	鈴木(啓)	代田
	再診	柵植	寺田	寺田	柵植	鈴木(啓)
		代田	鈴木(啓)	鈴木(淳)	代田	鈴木(淳)
		伊藤	—	伊藤	—	伊藤
リハビリテーション	石川	洪	大澤	井上	山本	
	山田	山田	山田	山田	山田	
放射線科	平澤	平澤	平澤	平澤	平澤	
	●詳細は受付にお問い合わせください。					
歯科口腔外科	新患	大岩	佐藤	(交代)	野田	(交代)
	再診	佐藤	大岩	—	大岩	—
		野田	野田	—	佐藤	—
		佐久間	佐久間	—	佐久間	—
早川	早川	—	早川	—		
緩和ケア科	緩和ケア外来	第2・4水曜日 PM 湯浅				
緩和ケアチーム外来	緩和ケアチーム外来	第1・3水曜日 PM 湯浅				

外来診療のご案内

- ◆初診 …… 総合案内で「診療申込票」に必要事項をご記入の上、保険証・(初めて受診される方) 紹介状・各種医療証書を添えて、新患受付にお出しく下さい。
- ◆診療受付時間 …… 午前8時20分~午前11時 (緊急および予約されている方はこの限りではありません)
- ◆休診日 …… 土曜・日曜・祝日 年末年始(12月29日~1月3日) 日本赤十字社創立記念日(5月1日)
- ◆セカンドオピニオン …… 詳しくは患者相談室までお問い合わせください。
- ◆専門外来 …… 患者相談室 電話052-485-3503(直通)

お問い合わせ先 **052-481-5111** (代表)

 当院は、病院敷地内全面禁煙です。ご理解とご協力をお願いいたします。

人間ドックのご案内

年に一度の健康管理をしてみませんか?

- ◆健康管理センター …… 電話にてお問い合わせください(予約制です)
- ◆受付時間 …… 月~金曜日(休診日を除く)午前8時50分~午後5時20分 電話052-471-3855(直通)

休診情報はホームページでご覧いただけます。

<http://www.nagoya-1st.jrc.or.jp/>

TOP » 外来のご案内 » 休診情報



名古屋第一赤十字病院

日本赤十字社

〒453-8511 名古屋市中村区道下町3丁目35番地
TEL.052-481-5111(代表) FAX.052-482-7733
<http://www.nagoya-1st.jrc.or.jp/>

理念

皆さまとの出会いを一期のことと心得、その痛みを分かちあい、苦しみを共にしつづ、一日も早く健康の幸せを喜びあえるよう努めます。

基本方針

- 1 皆さまが安心できる癒しの森といたします。
- 2 高度・良質で安全な医療をいたします。
- 3 災害救護活動を積極的に行います。
- 4 周産期・小児及び救急医療を充実します。
- 5 医療連携を密にして地域完結型の医療を目指します。
- 6 職員の教育・研修を推進します。
- 7 健全経営を維持するように努めます。

臨床研修の理念

医療に必要な不可欠な知識や技術の習得により、いかなる状況下でも人間の命と健康、尊厳を守る能力を身につけることを目的とする。名古屋西部という都市部における社会構造・高齢化など地域にとって必要な医療を理解し、在宅医療などの社会医療サービスとの連携をはかり、地域医療貢献の修得を目的とする。